

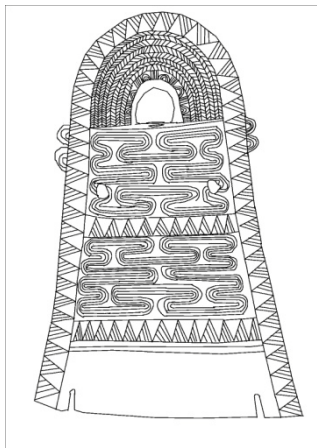
外縁付鈕2式 横型流水文 外2横流 1対耳兄弟

「外縁付鈕2式」 横型流水文 外2横流 1対耳兄弟

- 島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡） 11号鐸  
○徳島県 吉野川市川島町川島 川島神後鐸

- ☆島根県 雲南市加茂町岩倉（加茂岩倉遺跡） 11号鐸 高さ 44cm  
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画一対耳 島根県立古代出雲歴史博物館蔵  
☆徳島県 吉野川市川島町川島 川島神後鐸 高さ 45.7cm  
外縁付鈕2式 横型流水文 2区画一対耳 辰馬考古資料館蔵

A面



観察想像スケッチ

45cmクラス 2区画の流水文  
脚のない一対耳 A1タイプ  
横帯は上下共に 鋸歯文  
鈕の文様に 特徴がある

A面鈕部外側から内側へ

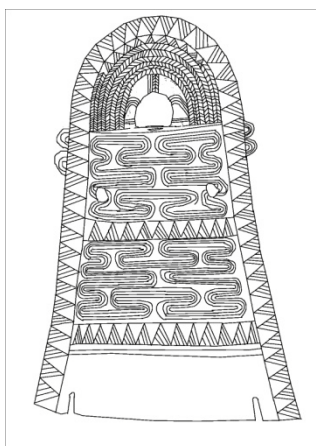
- 1列目 鋸歯文Rから飾耳あたりで片側がLへと変換する  
2列目から4列目 綾杉文A 共に X頂点  
5列目が珍しい文様 重弧文と縦線の組み合わせ

重弧文と言えば 荒神谷1号 なにか繋がりがあるのだろうか

鈕の内縁まで 4列も 綾杉文を もってくるのは 加茂岩倉5号鐸・氣比2号鐸  
横型流水文の特徴である 裾が上下に広い 身の下半の型持の幅が狭い というところが  
見てみると すぐにわかる

身の流水文は 上下共に 8c7x 横型流水文基本形

## B面



B面鈕部分は外側から内側へ

1列目 鋸齒文

2列目 綾杉文と鋸齒文の混合

3列目 綾杉文Aが3列

内縁がまた変わった文様です やはり重弧文の変形か？

A面とは また違った形 ここも正確には読みとれないので  
今後の研究を待つしかないです

この銅鐸群は鈕の部分が少し違うだけで

あとは ほぼ同じ文様です